



宗岡二小だより 2月号



学校教育目標

- よく考える子 (知)
- やさしい子 (徳)
- たくましい子 (体)

令和3年2月1日 (月)

志木市立宗岡第二小学校
志木市上宗岡3-13-1

TEL048-473-2305

HP <http://www.mune2syo.ed.jp/>

夢 っ ぱ い 笑 顔 っ ぱ い 元 気 っ ぱ い

1月は 本校のいじめゼロ運動

校長 島村直人

3学期も1月が過ぎました。季節は冬、澄み切った空下、極寒の空気に子どもたちの元気な声が毎日響いております。1月は、「いじめゼロ運動」に向けた全校的な取り組みとして、「いいところ」という掲示物が1階中廊下に飾られています。掲示の中には次のように書かれています。

・学校の給食がすごくおいしい ・あいさつをする人が増えてきた ・掃除を一生懸命して絶対にさぼらないこと ・4分間走の時大きな声で応援してくれる ・元気いっぱいたくさん元気をくれる ・先生は最後まで見てくれる

ここには、子どもたちが友達に伝えたい 給食・学校・友達・先生 の『いいところ』を集め掲示しています。子ども達が気付いた『いいところ』が小さな紙いっぱい書かれています。ほかにもたくさんあると思います。いっぱい見つけて、みんなに教えてあげてください。

片づけるとは捨てること！

「書類や郵便物の山、山、山……。こんな状態で、いい仕事などできるわけがない。」

こんな記事がインターネットのニュースにありました。私の父は昭和の始め生まれで、気質は頑固で自分の言ったことが絶対と思っている人間です。そんな父は、何かというと「もったいない」「まだ使える」「何かの役に立つ」となんでも捨てるのを嫌がります。それでいて、テレビショッピングや量販店で「この靴は履いていて楽で歩きやすい」などというものがあると、すぐを買ってしまいます。その他にも挙げたらきりがありませんが、数十年前に退職し使わなくなったスーツや若い頃の趣味だった釣りの餌など、使わなくなっても捨てられないでとってあります。そのおかげで、寝室と物置が大変な状態になっています。

ずいぶん昔になりますが、ケニヤ出身ワンガリ・マータイさんが日本の「もったいない」という言葉に感銘を受け、世界に呼び掛けたことがありました。「もったいない」いう感覚は大切にしなければいけないと思います。しかし、何年間も使いもしないものを保存しておくスペースや山と積まれたものの中から必要なものを探し出す時間はもったいなくはないでしょうか。大切なことは今使っているもの、時々ではあるが使うもの、使う可能性のあるもの、おそらく使わないであろうもの、これらを区分して、適切に処分していくことだと思います。

『仕事中に探し物をする時間は1日平均20分、1年間で150時間に達する』といわれています。将来社会人として活躍していく、宗岡第二小学校の皆さんには、片づけ上手になって、整った環境で勉強や仕事のできる人になってほしいものです。



学校・家庭・地域のコミュニティ『親子ふれあい田んぼ』協力し合って27年目